

がいらいせいぶつ
- 外来生物 -

しんしゅうだいがくりがくぶせいぶつかがくか
信州大学理学部生物科学科

いしだ たかゆき はぎたに あきら ふじやま しずお
石田 剛之・萩谷 彬・藤山 静雄

がいらいしゅ
外来種って？

外来種とは、人間がどこかから運んできてしまい、
もともとその地域には住んでいなかったのに、住み着いてしまった生き物のことです。
「外来種」という言葉からは、外国からやってきたイメージがありますが、
日本にいる生き物を、日本国内のどこか他の場所に移した場合も外来種になります。
外来種はもともとそこに住んでいた生き物や自然に悪い影響を与えることがあります。

悪い影響とは、もともとそこに住んでいた動植物を食べてしまうことや、
同じような食べ物を食べたり、住み場所をもっているために、
それらの奪い合いが起こったりすることです。
それによってもともとそこに住んでいた生き物たちは、
そこには住めなくなってしまう、最後には絶滅してしまうことも考えられます。

がいらいしゅ
どんな外来種がいるの？

実はみなさんがよく見慣れた生き物の中に外来種はたくさんいます。
中には名前の知っているものもいるかもしれません。
さらには「これも？」と思うような、
知っている生き物が外来種だった、そんな意外な生き物もいるかもしれません。

このブースで、日本にはどのような外来種がいるのか、
また、それらはどのように暮らしているのか、私たちと一緒に勉強してみましょう。

